

第64回  
印度学宗教学会学術大会

日程

2023（令和5）年5月27日（土）・28日（日）

会場：東北大学

文科系総合講義棟法学部第1講義室

印度学宗教学会事務局  
〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1  
東北大学大学院文学研究科  
インド学研究室，宗教学研究室内  
Tel(Fax): 022-795-6025(3587) [インド学]  
Tel & Fax : 022-795-6022 [宗教学]  
E-mail: indoreligio@gmail.com

## 第1日 5月27日（土）

学会受付（9:30～）：ホール

### □ 開会の挨拶（10:30）

印度学宗教学会会長

木村 敏明

### □ 研究発表（10:40～13:00）

1. 初期臨床研修医に対する死生観教育について 川崎 磨美 （東北大学）
2. 宗教と認知行動的セルフモニタリングに関する研究—心理支援における宗教の役割と可能性— 山崎 洋史 （東北大学）
3. イスラーム神秘主義における権威論 澤井 真(天理大学おやさと研究所)
4. 梵文「法華経」成立史再考 笠松 直 （仙台高等専門学校）
5. 中山正善・天理教二代真柱による「おさしづ」研究 澤井 治郎 （天理大学）
6. 移民の孤立と「宗教的」リスク—ベトナム人技能実習生死体遺棄事件を事例として— 滝澤 克彦 （長崎大学）
7. 聖典理解とその視座—井筒俊彦とウィルフレッド・C・スミスの宗教論— 澤井 義次 （天理大学）

□ 昼休み （13:00～15:10）

□ 理事会 （13:10～14:10）

□ 評議員会 （14:10～15:10）

□ ポスター発表 （15:10～16:40） 27日のみ 次頁参照

□ 総会 （16:40～17:40）：文科系総合講義棟法学部第1講義室

第2日 5月28日(日)  
学会受付(9:00~):ホール

□ 研究発表(10:00~12:20)

1. 東日本大震災に関するモノと慰霊 廣田 香 (東北大学)
2. 日本の供養研究における「モノ」の位置づけ—研究動向の整理と検討—  
佐崎 愛 (東北大学)
3. スピリチュアルケア実践者の自己覚知とビリーフ自由—専門職養成プログラムの実体験から振り返る—  
大村 重信 (東北大学)
4. インド・チベット仏教注釈文献の分類と基準—プトゥン『サンプタ広注』を手がかりに  
菊谷 竜太 (高野山大学)
5. Don't make me turn in my grave—死者供養の倫理試論— 鳥居 建己 (東北公益文科大学)
6. 弁証法への偏執—キャサリン・ベルの儀礼学批判 早川 敦 (東北福祉大学)
7. 「開け」としての「受持譲与」—日蓮の一念三千— 間宮 啓壬 (身延山大学)

□ 閉会の挨拶(12:20-12:30) 印度学宗教学会会長

### ポスター発表（27日（土）15:10～16:40）

- 〈研究構想〉 イスラームに改宗した日本人の適応戦略  
Astri Fatima Ramadina（東北大学）
- 〈研究構想〉 共産主義社会におけるスピリチュアルギャップ—撫順市における高齢者たちの語りから—  
王 澤昇（東北大学）
- 〈研究構想〉 新型コロナウイルス感染症流行下における仏教の社会貢献活動  
龚 熙雁（東北大学）
- 〈研究構想〉 「信においてある存在」としての人間とその根柢—諸井慶徳の教義学研究をめぐって—  
久保 大生（東北大学）
- 〈研究構想〉 災害現場における仏教者による支援活動の研究—女性僧侶の役割について  
呉 怡丹（東北大学）
- 〈研究構想〉 終末期医療に対する宗教実践  
高 瑩（東北大学）
- 〈研究構想〉 浄土真宗本願寺派寺族の信仰形成過程  
小金丸弘宜（東北大学）
- 〈研究構想〉 西洋エゾテリズムにおける儀礼—グノーシス・ミサについて  
崔 瑜娜（東北大学）
- 〈研究構想〉 スピリチュアリティとマインドフルネスブーム  
張 迪雅（東北大学）
- 〈研究構想〉 地獄信仰と観光化—中国重慶市「鬼城豊都」と日本青森県「霊場恐山」の比較  
任 宇航（東北大学）
- 〈研究構想〉 「湯殿山系即身仏」の形成  
正木風花（東北大学）

### 大会会場案内

- ・ JR 仙台駅から地下鉄東西線へ乗り換え後、川内駅下車（地下鉄仙台駅より約 6 分）
- ・ 川内駅下車後、川内南キャンパスへ徒歩で約 5 分

### 川内南キャンパス地図



クローク・会員休憩室：法学部第2講義室